

資料5 質問状及び回答

国際協力事業団（JICA）予備調査団は、「青海省チベット族地区牧畜越冬保護機材整備計画」予備調査を円滑に実施するために、中華人民共和国政府の本件プロジェクト担当機関に以下の事項を質問します。

I. 開発計画等

青海省と果洛自治州政府には2000年までに85%の貧困人口を“脱貧”させ、1人当たり年収を850元に上げる“七ヶ年計画”（1994-2000）があると聞きました。

- (1) その計画の概要を教えてください。
- (2) この中で牧畜（畜産）業の役割を教えてください。
また、具体的な数字があればそれも教えてください。
- (3) 本件プロジェクトはこの7ヶ年計画の中で想定される役割があるのでしょうか？あるとすればそれは何ですか？

回答：(1) (2) (3) 共、別紙-1 参照

II. 実施体制

1. 青海省

- (1) 青海省牧畜地域家畜越冬保護項目指導グループの構成組織とメンバーは何（誰）ですか？

回答：現在はない。プロジェクト実施決定後構成される。

- (2) このグループの本件プロジェクトにおける役割は何ですか？

回答：最高意志決定機関

- (3) 青海省政府の中で牧畜行政を担当する部局はどこですか？

回答：青海省畜牧庁

その部局と本件プロジェクトとは関わりがあるのですか？ないのですか？

回答：現在はない。

- (4) ある場合、どのような関わり方ですか？

①組織的關係

②技術的關係

- (5) ない場合、どうしてですか？

回答：プロジェクトが発足してないため。

- (6) 省対外貿易經濟合作庁とその部局とは本プロジェクトに関しどのような関係がありますか？

回答：別紙－2 参照。

(7) 省対外貿易経済合作庁とはどのような組織ですか？

回答：別紙－2 参照。

- ①省政府での組織的位置づけ（省体外貿易経済庁の位置を示した省政府行政組織図の提供を希望します）ではどこにありますか？
- ②本件プロジェクトとの関係や役割とは何ですか？
- ③この項目管理辦公室の省対外貿易庁の中での位置付けはどこですか？（項目管理辦公室の位置を示した省対外貿易経済庁の組織図の提示を希望します）
- ④同庁内で担当する項目管理辦公室の本プロジェクトでの役割とは何ですか？

2. 果洛自治州政府について

回答：違う組織

- (1) 果洛自治州政府の中で果洛州項目辦公室と州農牧局とは同じ組織ですか？
- (2) ちがう場合、実施機関はどちらですか？果洛州項目辦公室ですか？州農牧局ですか？また、本件プロジェクトの中のそれぞれの役割を教えてください。

回答：果洛州項目辦公室

- (3) 果洛自治州政府の中で州項目辦公室と州農牧局、州農業機械ステーション、各県農牧局／牧畜局、州貯草ステーションの位置付けが判る組織図の提供を希望します。

回答：別紙－3 参照。

3. 果洛州農牧局について

- (1) 農牧局内の部や課が明らかな組織図の提供して下さい。

回答：別紙－4 参照。

- (2) 職員は20余名ですが、それらの方々の役職と技術者の有無、技術者の国家資格の有無最終学歴を教えてください。

回答：別紙－4 参照。

- (3) 昨年度（1997）と今年度（1998）の局予算を教えてください。

その内訳で管理費はいくらで事業費はいくらでしょうか？

回答：98年の予算、261万元。

- (4) 現段階でははっきりしませんが、人員、予算が本件プロジェクトを実施するにあたって少なすぎる印象を持っていますが、中国側関係者のご意見を伺います。

回答：人員は十分いるが予算は少ない。

4. 県の農牧局・牧畜局について

本件プロジェクトを担当する部局の職員数、年間予算、担当者数等についてお聞きします。次の表の空欄を埋めて下さい。

回答：別紙－5 参照。

	予算（単位：万元）		職員数	（うち担当者数）	
	1997	1998			
斑鳩県					
瑪沁県					
久治県					
瑪多県					
達日県					
甘徳県					

Ⅲ. 四配套計画について

1. プロジェクトサイトの選定規準と選定理由について、27郷全てについて記入して下さい。また、選定に用いたデータを見せて下さい。

回答：選定基準、自然条件、収入、牧畜業、別紙－6 参照。

2. プロジェクトサイトを果洛自治州の地図上にプロットして下さい。また、各郷の地図上に定住化住宅建設予定地をプロットして下さい。

回答：別紙－7 参照。（各郷の予定地は未決）

3. 雪害状況

- (1) 各プロジェクトサイトの降雪量、積雪量（過去5年間）

回答：別紙－8 参照。

- (2) 各プロジェクトサイトの雪害について記入して下さい。

回答：別紙－8 参照。

4. 四配套の計画の基本目的について再確認したいので、その趣旨をご説明願います。

- (1) 四配套計画内容はどのような構成になっているのか再確認したいのでご説明願います（将来的な展開を含む）。

回答：別紙－ 9、 10 参照。

(2) 四配套の導入と現在までの実績についておたずねします。

①これまで四配套計画に参加した県および郷名、戸数

回答：別紙－ 11 参照。

②現在までに行った各郷についての定住率

回答：100%

③草植えに対する実施率（各郷、過去3年間）

回答：100%

④草植えによってできた草の貯蔵はどこにしているか。

回答：露天、小屋等牧戸により違う。

⑤草植えによってできた草の貯蔵量（各郷、過去3年間）

回答：2,000kg/戸

(3) 四配套の建設、管理、保護の規則、制度、方法及び標準的な牧場項目建設の規準を記入して下さい。

回答：別紙－ 12、 13 参照。

(4) 本件プロジェクトにかかる四配套導入の対象牧戸の選定規準、選定方法について、記入して下さい。

回答：貧困戸及び特別貧困戸

(5) 四配套によって建設された施設について

①囲欄、畜舎、定住化住宅については、牧戸に供与しますか。賃貸又は、販売としますか。

回答：各牧戸が購入する。

②囲欄、畜舎、定住化住宅、草植え場の土地所有者は誰ですか。

回答：土地所有者は政府、ただし、土地使用权は各牧戸にある。

IV. 四配套回転資金導入計画について

1. 本件プロジェクトにかかる四配套計画の実施機関は、州農牧局ですか？

回答：プロジェクト弁公室

2. 州農牧局には、「回転資金導入計画」と類似のプロジェクトを実施した経験がありますか？

回答：ない。

3. 州農牧局には「回転資金導入計画」の運営管理能力がありますか？

回答：ある。

4. もしあると答えた場合のその根拠となる原因・理由は何ですか？

(1) 担当職員数と彼等の最終学歴

(2) 担当職員の経験年数

回答：(1) (2) 共、回転資金計画のスキームは簡単である。

5. 「回転資金導入計画」の仕組みについて詳細に教えてください（特に誰が誰にいつ何の為にいくら位金を貸していつどのようにして回収するのか教えてください）。

回答：4セット同時導入、対象は貧困戸、特別貧困戸、返済金を回転資金にする。詳細については未決定。

6. 「農民開発銀行」の行っている農民への貸付について

回答：回転資金導入計画には、農民開発銀行は関わらない。

(1) 貸付の目的は何ですか？

(2) 貸付の規模はどの位ですか？

(3) 貸付の条件とは何ですか？

(4) 回収出来ないこと（不良債権化）は発生しますか？

(5) その原因・理由は何ですか？

(6) それら回収出来ない不良債権はどのように取り扱っていますか？

(7) 一般にこの事業は成功していると言えるのでしょうか？あるいは問題が多く改善の余地も沢山あるとお考えでしょうか？

V. 要請内容の確認について

1. 要請施設の概要について教えてください。

(1) 畜舎、定住化住宅囲欄の標準設計図を下さい。

回答：別紙-14、15、16。

(2) 畜舎、定住化住宅囲欄の建設に関わる標準的な工期はどの位の期間になりますか？

回答：畜舎51日、定住化住宅33日、囲欄54日。

(3) 1世帯当たりの平均的な家族人数、羊の数、ヤクの数をお願いします。

回答：別紙-6参照。

2. 要請機材の概要について

(1) 無線機 34台

①現有の機種、技術仕様、使用年数を教えてください。

回答：現有の機種、技術仕様は別紙-17、使用年数8年。

②故障した場合の原因・理由について教えてください。

回答：操作未熟、電圧不安定、保管場所が悪い。

③新規要請中の無線機は現地調達の可能性はありますか？

回答：ある。

(2) 無線機用発電機 34台

①現有の機種、技術仕様、使用年数を教えてください。

回答：現在はない。

②故障した場合の原因・理由について教えてください。

③新規要請中の発電機は現地調達の可能性はありますか？

回答：ある。

(3) ブルドーザー 8台

①主な使用目的は何ですか？

回答：除雪、道路補修。

②現有の機種、技術仕様、使用年数を教えてください。

回答：ない。

③故障した原因・理由について教えてください。

(4) 掘削機（エクスカベーター）2台

①主な使用目的は何ですか？

回答：除雪、道路補修。

②希望の技術仕様を教えてください。

回答：バケットサイズ、0.3~0.5m³

(5) 4WD車 10台

①主な使用目的を確認の為教えてください。

回答：人命救助、緊急医薬品輸送、指揮連絡。

②希望の技術仕様を教えてください。

回答：4WDワゴン、ロングボディ、高地仕様。

③付属品としては何が必要か教えてください。

回答：車載、短波無線機、ウィンチ、簡易ベッド

その他参考資料、別紙-18、19、20。

青海省七年扶贫攻坚计划

(1994—2000年)

省政府. 94. 6. 10

1986年以来,在党中央、国务院的关怀下,我省有组织、有计划地开展了大规模的扶贫开发工作。经过8年的艰苦努力,取得了明显成效。按国家原定温饱标准,全省1986年核定的68.15万贫困人口到1993年减少为23.9万人,贫困地区农牧民生活水平有了一定提高。

为了在本世纪末完成消灭绝对贫困的历史任务,党中央、国务院制定了“八七扶贫攻坚计划”。这个计划根据国民经济总体规划和“小康”目标的要求,为弱保贫困地区农牧民维持基本生活的需要,将原定温饱标准作了调整。按照新的标准统计,目前全省还有119万人尚未解决温饱。这些贫困人口主要分布在南部高寒牧区和东部干旱山区。国家核定扶持的14个贫困县全部集中在这两个地区。此外,还有省定的38个贫困乡,分布在8个非贫困县内。贫困地区的共同特征是:地处偏远、交通不便、信息闭塞、生态失调、市场狭小、产业单一、生产力水平低下。特别是青南地区90%以上的乡、社分布在4000米以上的高寒地区,气候恶劣,自

然灾害频繁,经济文化落后,社会发育程度很低,解决群众的温饱问题难度更大,任务更艰巨。

解决贫困地区群众的温饱问题,不仅是一项经济任务,而且是关系到民族团结、社会长治久安的一项政治任务,必须高度重视,努力做好。为此,根据国家“八七扶贫攻坚计划”的总体要求,结合我省实际,特制定“青海省七年扶贫攻坚计划”。

一、奋斗目标与实施步骤

(一)扶贫工作要坚持“组织各方、通力合作、扶贫济困、治愚治穷、因地制宜、突出重点、开发资源、发展经济、注重效益、持之以恒”的方针。以南部高寒牧区和东部干旱山区为重点,加大扶持力度,强化农牧业基础建设,发展支柱产业,增强贫困地区自我发展能力。

(二)奋斗目标:到本世纪末,力争稳定地解决现有贫困人口温饱问题。温饱标准:按1990年不变价格计算,农区年人均纯收入达到500元以上;牧区年人均纯收入达到600元以上。

(三)按照“统一规划,分级负责,先易后难,分类指导,分步实施,限期脱贫”的原则,扶贫攻坚分两类地区进行。

——第一类地区大通、民和、湟源、平安、循化、同仁、玉树、班玛8县,用五年时间(1994年至1998年),集中力量解决12.49万户、66万人口的温饱问题;省定38个贫困乡5万户、27.5万人口也在此期间解决温饱。

——第二类地区泽库、达日、囊谦、治多、杂多、化隆6县,用七年时间(1994年到2000年),集中攻坚,基本解决4.68万户、26万贫困人口的温饱问题。

难度较大的贫困县,除省上全力支持外,要千方百计争取国家各有关部门的支持,力争按期解决温饱。

二、主要措施

(四)坚持农牧业综合开发,大力开展农田、草原基础设施建设,为农牧业的稳定发展创造条件。

——改变畜牧业生产条件。牧区贫困县从1994年到2000年,集中进行以草业建设为重点的“四配套”建设,连同原有基础,累计户均建成围栏草场200亩,畜棚50平方米,人工种草10亩,80%牧户实行定居,定居房屋使用面积40—50平方米。人均拥有牛羊25头(只),年总增率达到25%以上,商品率达到15%以上。“四配套”(防灾基地)建设采取分县实施、适当集中、连片建设的办法,建成一批,巩

固一批,再新建一批,稳步推进,讲求质量和效益。

农业区要努力发展舍饲畜牧业。推广秸秆氨化养牛技术,发展细毛羊。争取户均年出售一头商品畜,到本世纪末,使养殖业收入占农村经济总收入的30%以上,其中山区达到50%。

——加强基本农田建设。动员和组织群众大搞农田水利基本建设,治理水土流失,在今后七年内,有条件的地区人均建成半亩水浇地,干旱山区人均建成一亩水平梯田。对自然环境严酷、生存条件很差的村、社,结合农业综合开发,稳妥地进行移民扶贫。

(五)大力发展乡镇企业,引导和扶持贫困地区到交通沿线、工业小区创办乡(镇)、村和个体私营企业,发展股份合作制经济。充分利用农牧区的资源优势,认真组织实施温饱工程,组织千家万户连片开发投资少、见效快、覆盖广、效益高、有助于直接解决群众温饱的种植业、养殖业和以其产品为原料的加工业。农区户均转移一个劳动力,牧区也要转移一部分劳动力,从事工副业生产或其他劳务活动。多种经营收入人均达200元以上。

(六)抓好人畜饮水工程建设,到本世纪末,要基本解决海东八县及大通县的贫困人口31.5万人、50万头(只)牲畜

和青南三州 7 万人、85 万头牲畜的饮水困难问题。其中在 1994 年至 1998 年五年中解决 35 万人、125 万头(只)牲畜的饮水问题。

(七)改善贫困地区的交通落后状况。从今年起,采取群众集资投劳和国家“以工代赈”资金扶持的办法,建设乡村公路。到 2000 年,基本解决贫困地区乡乡通路的问题,干线公路得到相应改善。

(八)努力加快无电地区的电力建设。力争“九五”期间,基本解决贫困县的用电问题,到 2000 年,使农区贫困县、乡、村、户通电率分别达到 100%、95%和 90%。牧区贫困县、乡、村通电率也要相应提高。

(九)积极推进贫困地区邮电通讯事业。优先解决青南牧区 45 个乡不通电话的问题;完成湟源、同仁、玉树、达日、化隆、循化、治多、杂多、囊谦 9 县的程控交换机工程;完成同仁至泽库挂线 90 公里和乐都至民和架空光缆 50 公里的传输项目工程;完成 38 个贫困乡程控小交换机(空时分制)及集线器方式进行通讯的工程项目,为贫困地区经济发展创造必要条件。

(十)认真抓好智力开发,推进科技扶贫。努力发展教育、文化、卫生事业,切实抓好计划生育。到 2000 年贫困地

区学龄儿童入学率要达到80%以上,其中农区达到90%以上,牧区达到70%以上;开展成人扫盲活动,基本扫除青壮年文盲;改善医疗卫生条件,使现有乡镇卫生院90%的危房得到改造,70%的乡镇卫生院卫技人员得到培训;建立健全三级医疗卫生网,基本控制地方病。人口出生率控制在21%以内,人口自然增长率控制在16%以内。1994年至1998年,在有电的乡村,大力发展有线广播和电视,扩大广播和电视收视率。青南牧区在办好现有图书馆的同时,每县配备一辆流动文化服务车,恢复电影巡回放映队,活跃群众文化生活。

三、管好用好扶贫资金

(十一)为确保本计划的实施,对来自各种渠道的扶贫资金,要按照资金管理原则,专款专用。额度由省贫困地区工作领导小组牵头会同有关部门按项目投放。国家以工代赈资金、扶贫贴息贷款主要用于圈定的贫困县。省财政原有和新增的财政借款用于非贫困县中的省定贫困乡。扶贫开发资金投向,应当以种植业、养殖业和以农牧产品为原料的加工业,以及劳务输出和资源型、劳动密集型的乡镇企业为重点。以工代赈主要扶持贫困地区修筑公路、解决人畜饮水

和农田基本建设。

(十二)各级扶贫开发组织要加强扶贫资金的管理,切实搞好扶贫项目的筛选、论证、评估、荐报工作。任何单位和个人不得利用扶贫资金在扶贫开发组织批准的项目外随意上项目。项目经扶贫办和银行共同审定后逐级上报。

(十三)扶贫资金的投放要与使用效益、回收直接挂钩。扶贫项目资金一般由项目贷款人和经济实体统贷统还。项目必须覆盖贫困村,效益落实到贫困户。各级扶贫开发办要加强项目管理和监督,并协助银行和资金管理部门把组织到期资金的回收工作作为一项重要任务来抓。

(十四)严格扶贫资金的审计制度,扶贫资金要专款专用,严禁挤占和挪用,违者追究有关人员责任。

(十五) 信贷优惠政策

——对确有~~能力~~承贷扶贫资金的贫困户,承贷1000元以下小项目贷款,可以不搞抵押担保。

——对贫困地区周期短、效益好的乡镇企业贷款,自有资金比例农区可降到20%,牧区可降到10%。

——发达地区的企业或个人到贫困地区开发资源,投资兴办或联办经济实体,吸收当地贫困户劳力就业,可用扶贫资金配套支持。

(十六) 财政优惠政策

省财政继续安排一部分资金,用于青南特困地区部分生产资料的补贴。

——1994年到2000年,省财政在保持原有扶贫借款数额的基础上,每年再增加100万元,扶持省定贫困乡发展生产。对国家扶贫资金之外争取的扶贫信贷资金,按国家规定承担贴息。

——按国家规定,今后每年从支援不发达发展资金中安排一定比例的资金用于贫困地区的技术培训。

——各级政府要把扶贫开发列入财政预算,每年都要安排一定的资金用于扶贫,并随着财力的增加而增加。

四、部 门 任 务

(十七)政府各有关部门要根据本计划的要求,分别制定本行业、本部门的七年扶贫攻坚计划,充分发挥各自优势,在资金、物资、技术上向贫困地区倾斜。

(十八)省计委要做好涉及扶贫开发的宏观协调工作,组织和推动贫困地区与发达地区的经济合作。特别是管好和用好以三代债资金,分年度实施好贫困地区的乡村公路、人畜饮水二程建设。

~~(十九) 各有关部门要继续组织实施“贫困地区农业技术骨干培训计划”~~，发展高产优质高效农牧业，加强农牧业技术体系建设，搞好农牧民技术培训和实用技术的推广工作；省湟源牧校、省农校、省牧院应在14个贫困县定向招生，定向分配，培养一批稳定的农牧业技术骨干。

(二十)水利部门要配合以工代赈项目的实施，加快贫困地区的基本农田建设和小流域综合治理；兴修小型水利设施，采取多种形式解决人畜饮水困难；利用小水资源，发展小水电。

(二十一)交通部门要配合实施以工代赈计划，增加投入，抓好贫困地区、县、乡公路建设，努力实现本计划提出的目标。

(二十二)电力部门要积极协助地方政府，加快无电地区的电力建设，努力提高贫困地区农户的通电率。

(二十三)邮电部门和当地政府要积极筹集建设资金，加快贫困地区县市内电话的改造进度，努力改善贫困乡村邮电通讯条件。

(二十四)地矿、冶金、建材等部门要帮助贫困地区探明矿产资源，在同等条件下，优先安排贫困地区合理开发和利用。

(二十五)劳动部门要为贫困地区开拓外出就业门路,指导就业服务和技术培训工作,努力扩大合理有序的劳务输出规模。

(二十六)商业和对外贸易部门,要积极帮助贫困地区开拓市场,搞活流通,建立外贸商品基地,扩大内外贸易。

(二十七)科技部门要制定科技扶贫的战略规划,指导和推动扶贫工作转到依靠科技进步和提高农牧民素质的轨道上来。动员各方面力量进行多种形式的科技开发和科技服务,认真抓好扶贫开发的科学研究和科技示范。教育部门要组织好贫困县的“燎原计划”,普及初等教育,做好农村青年的扫盲工作,加强成人教育和职业教育。同时在院校设立中专班,定向招生、定向分配,以解决人才严重不足问题。

(二十八)文化部门要在贫困地区安排一定的文化设施建设,坚持采取电影巡回放映队、文化流动车等灵活多样的形式改善贫困地区群众文化生活。广播电视部门要为贫困地区建设电视差转台,扩大电视收视率和有限广播覆盖范围。

(二十九)卫生部门要建立和完善贫困地区三级医疗预防保健网;大中专院校要为贫困地区培养定向生,定向分配医务人员,稳定乡村医疗队伍,提高乡村医疗服务水平,制

定和落实控制地方病的措施。计划生育部门要特别加强贫困地区的计划生育工作,把实行计划生育与扶贫结合起来,积极开展人口与计划生育基础知识教育,提供必要的避孕药具,努力降低过高的人口增长率。

(三十)继续动员社会各界开展扶贫济困活动。各级工会、共青团、妇联要积极参与扶贫开发。各民主党派、工商联、大专院校、科研单位,要充分发挥人才众多、技术密集、联系广泛的优势,积极参与定点挂钩扶贫,进一步开展科技扶贫和智力开发,帮助贫困地区培训人才,推广技术,沟通信息,发展经济技术合作。要加强贫困地区和发达地区干部交流,进行对口挂职学习,提高贫困地区干部素质。

(三十一)积极开展同扶贫有关的国际组织、区域组织,政府和非政府组织的交流。让东部沿海及海外侨胞了解我省贫困地区的发展状况和扶贫工作,积极扩大和发展与兄弟省(区)在扶贫开发方面的合作,广泛争取对我省七年扶贫攻坚计划的援助和支持。

(三十二)努力改善贫困地区的投资环境,以我省贫困地区的资源优势 and 优惠政策吸引海外侨胞和沿海发达地区的客商到贫困地区兴办开发型企业,促进贫困地区的经济发展。

五、组织与领导

(三十三)本计划在省委、省政府统一领导下,由省贫困地区工作领导小组具体负责组织实施。领导小组的主要任务是:全面部署和督促检查本计划的实施;调查研究、总结推广计划实施过程中的经验;制定本计划实施的具体政策和措施;组织协调解决计划实施过程中的问题。

(三十四)坚持以州、地、市、县为主,分级负责的原则。有关州、地、市要落实扶贫目标责任制,按照本计划提出的时间、要求,按期解决温饱。大通县的扶贫工作,主要由西宁市人民政府负责;海东地区贫困县和省定贫困乡的扶贫工作主要由海东行署负责;黄南、果洛、玉树州所属各县的扶贫工作,以所在州人民政府为主,省上给予必要帮助。

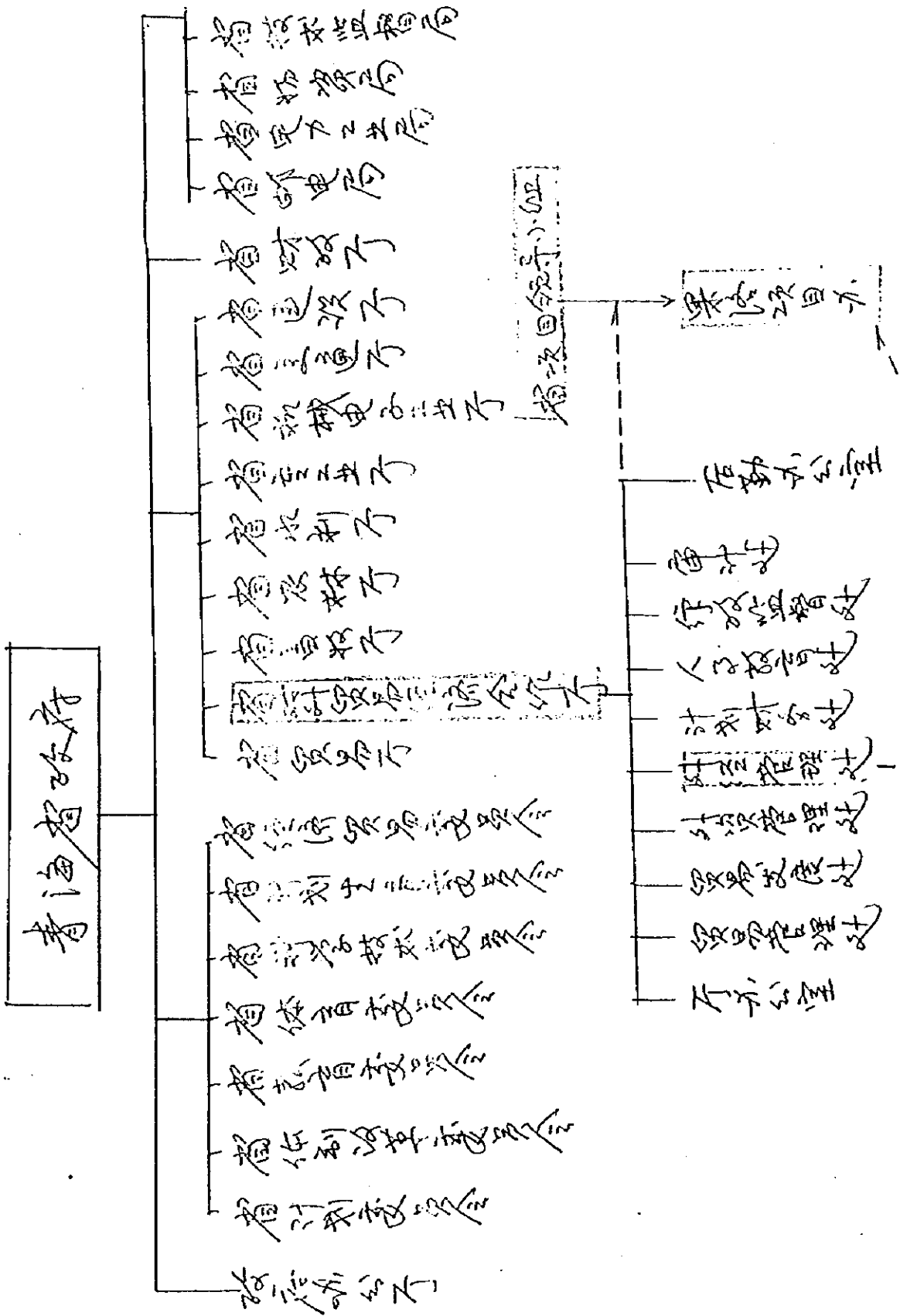
(三十五)贫困县要把扶贫开发作为经济工作的中心任务和头等大事。根据本计划的要求,14个贫困县和38个贫困乡,要制定出具体的扶贫攻坚计划,分年度实施。贫困县广大干部要发扬自力更生、艰苦创业、与群众同甘共苦的精神,在没有摘掉贫困县帽子之前,不准购买高级小汽车,不准兴建高级招待所,不准用公款出国,不准随意调动县、乡领导干部。

(三十六)加强县、乡、村三级领导班子建设。州、地、市要选派得力干部充实加强贫困县的领导班子;贫困县要选派精明强干、能吃苦、善经营、懂经济工作的同志充实到贫困乡,并保持相对稳定。要把计划的实施状况和解决温饱的成效作为衡量贫困县、乡领导干部和业务部门政绩的主要标准。加强村党支部、村(牧)委会的思想组织建设,选拔积极肯干、能带动群众脱贫致富的优秀党员担任党支部书记或村长。

(三十七)各定点包县、包乡扶贫部门,要切实负起责任,与所包县、乡紧密配合,协同作战。要建立目标责任制,量化指标,严格考核,奖罚兑现,做到群众不脱贫,工作不脱钩,真正将扶贫攻坚计划目标、任务、措施落到实处。

(三十八)稳定和加强现有扶贫机构。凡贫困人口比重较大的州、地和贫困县,都要建立健全扶贫机构,加强扶贫工作,以确保本计划的实施。

- II.1.1 青海省的牲畜越冬保护项目领导小组将由省计委、省财政厅、省畜牧厅、省对外经贸厅、果洛州政府等单位的领导组成，由副省长任组长。
- II.1.2 作用——领导该项目实施，在实施过程中大问题的决策，单位间的工作协调，监督果洛州项目办的作。
- II.1.3 省府中由省畜牧厅负责全省的畜牧行政。
 4 该部门将参加省级项目领导小组，通过其畜牧行政，管理本项目的实施，同时作项目的技术指导。
- II.1.6. 省对外经贸厅是全省对外经济合作、进出口贸易的归口管理单位，对上和外经贸部直接联系。对该项目的政策、申请、呈报等直接参与，负责和外经贸部的函电联络，参加省项目办的工作。
- II.1.7. ① 对外经贸厅是省政府组织机构中是管理机构之一，如附图。
 ② 对外经济合作项目通过省对外经贸厅报外经贸部，没有其它呈报渠道。该项目也如此。
 ③ 省内项目协调，对上、对外联络，与果洛州项目办，共同指挥实施，对实施结果参与监督。

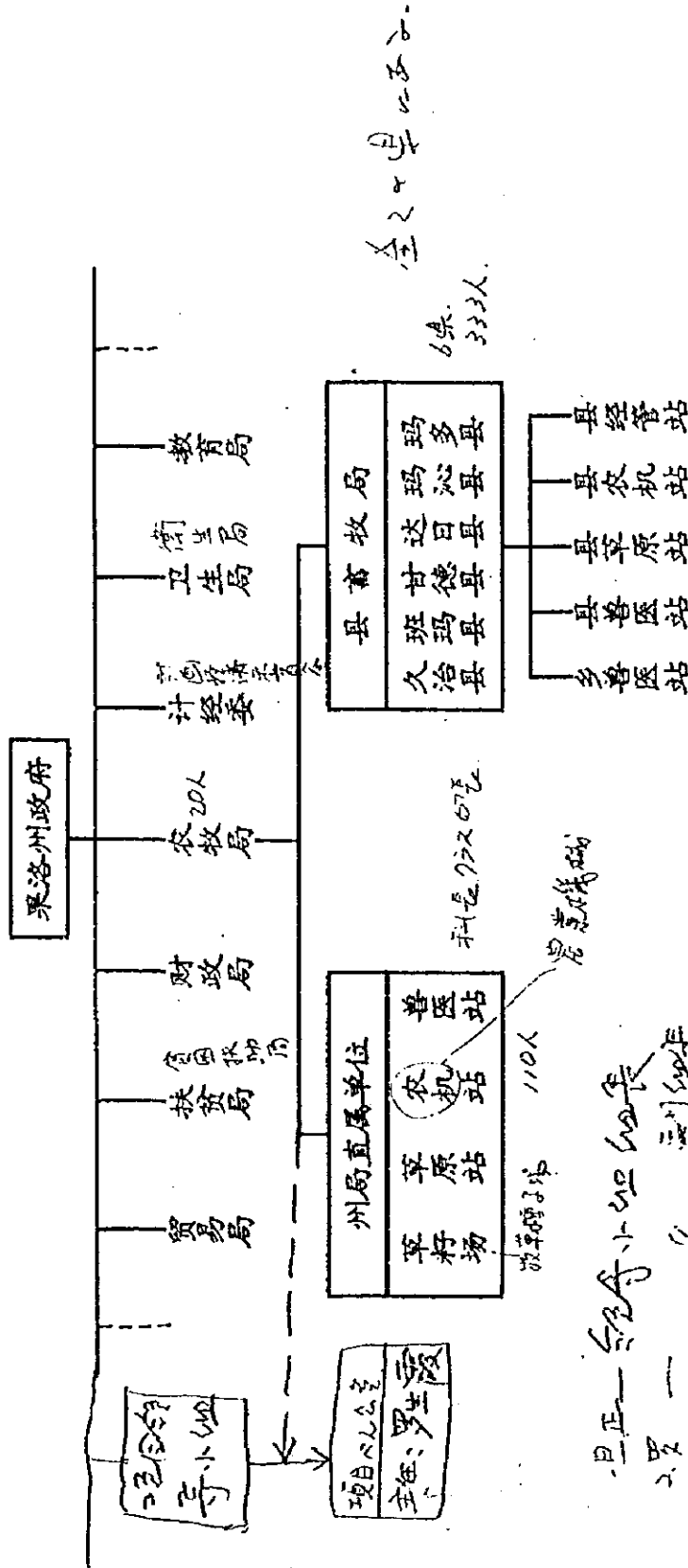


3/22

别录 - 3 - 1

青海省藏区牲畜越冬保护计划项目组织图

表一



县正 - 县经委小组组长
 县副 - 县副经委
 县副 - 县副经委

共 468人

8/22

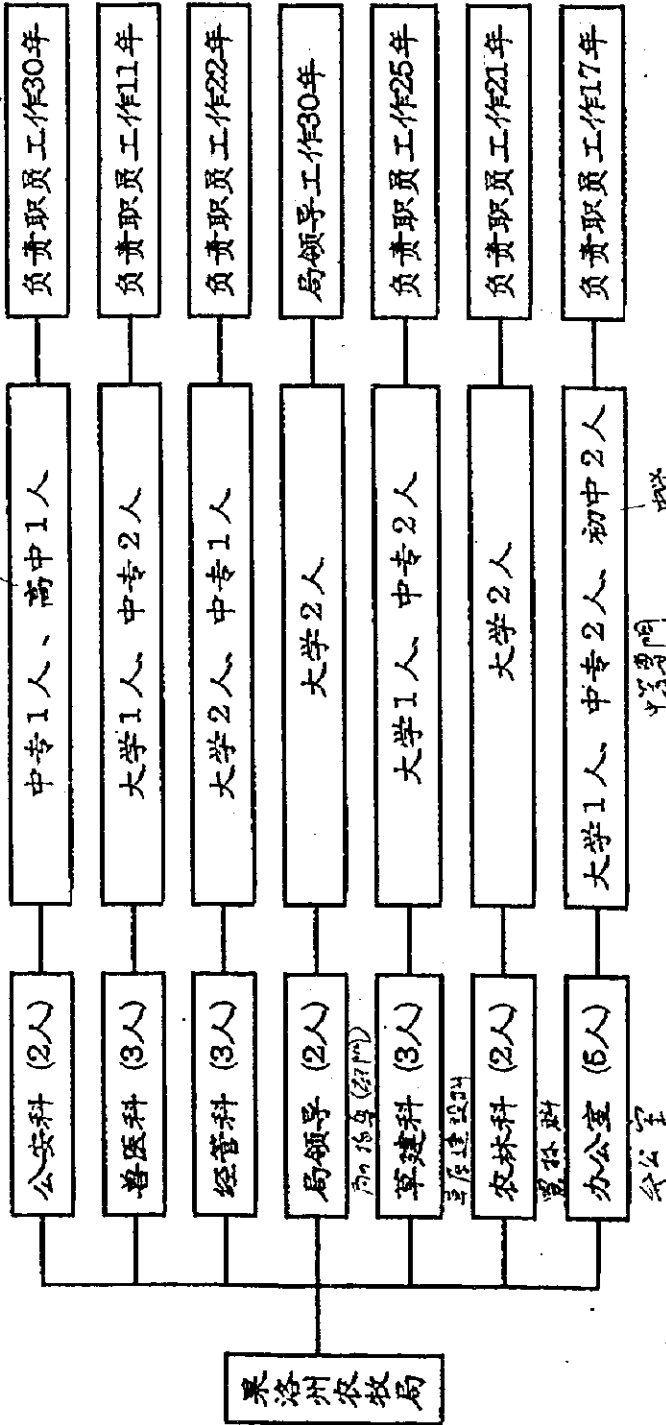
果洛州农牧局组织图

局址在共和县共和镇

局址在共和县共和镇

局址在共和县共和镇

表二



6年 3年 4年
 (中学) (女孩)
 11岁 初级中学 高级中学 小学
 中学(女)

8/24

(正)

州、县农牧局职员人数、全年预算、负责人数情况表
1~12月。担当者。

	预算(万元)		职员人数	项目负责人数	备注
	1997	1998			
州农牧局	245	261	130	9	含四个直属单位
班玛县	52.4	53.9	49	3	
玛沁县	87.5	91	90	3	
久治县	53.6	55	55	3	
玛多县	49	51.2	45	3	
达日县	31.7	33.5	32	3	
甘德县	53.6	55.7	50	3	

4つの直属
機関を含む

变更后河口江村对象户基本情况 1996年~97
 调整项目乡的基本情况
 贷款户数 家庭户数 人均占有牲畜头数
 防灾基地“四配套”建设情况
 防灾基地“四配套”建设情况
 防灾基地“四配套”建设情况
 防灾基地“四配套”建设情况
 防灾基地“四配套”建设情况

调整后项目乡名称	总户数	人口数	户数	人均占有牲畜头数	其中				人均收入	防灾基地“四配套”建设情况							
					牛	羊	人均占牛	人均占羊		房屋处	房屋面积	房屋处	房屋面积	房屋处	房屋面积	房屋处	房屋面积
当项	249	1080	19729	18.1	6905	6.34	12824	11.8	515.00	130	7300	120	800	130	360		
高马河	141	685	11645	17	4064	6	7581	11	458.70	42	2530	42		42	126		
江千	479	1981	36648	18.5	17224	8.7	19424	9.8	498.90	119	7140	119	238	119	357		
神舍土	294	1486	28234	19	9288	6.3	18946	12.7	501.00	88	5290	88		88	264		
吉迈	368	1753	29801	17	13081	7.3	16770	9.7	455.60	110	6800	110	220	63	189		
满掌	421	2264	44827	19.8	30816	13.4	14811	6.4	470.80	168	10080	168	336	168	504		
白玉	680	3281	61541	18.7	44012	13.4	17529	5.3	525.00	252	15120	252	1360	252	1380		
土尔根	480	2482	44179	17.8	11619	4.7	32560	13.1	480.70	144	8640	144	432	144	432		
吐来	445	2360	47200	20	27781	11.8	19419	8.2	490	156	9800	156	775	156	775		
合计	3507	17892	323804		182943		114263			1198	300199	1198	1068	1151	4087		

项目乡的基本情况表

地名	项目乡	总户数	人口数	牲畜数	人均占有牲畜	其中				人均收入	防灾基地(包修)建设情况							
						牛	人均占牛	羊	人均占羊		处	亩	座	平方米	处	亩	户	间
玛沁县	当洛	339	1688	30532	18.1	7333	4.4	23219	13.7	555.40	132	33000	132	7930	132	396	232	526
	优云	373	1892	39732	21	16667	8.8	33045	12.2	481.50	150	37500	150	9000	150	375	150	367
	拉加	351	4307	71065	16.5	33258	7.7	37807	8.8	650.00	340	85000	340	20400	340	1700	819	2368
甘德县	雪山	253	1229	27038	22	6767	5.5	20271	16.5	860.00	101	23250	101	6030	101	505	222	643
	下嘎麻	440	2172	42788	19.7	20732	9.6	22035	10.1	450.00	132	33000	132	7930	132	660	132	85
	东吉	440	1869	37940	20.3	17452	9.3	20488	11	457.60	252	63000	252	15120	252	756	252	756
德县	柯西	425	1830	38430	21	16666	9.3	21444	11.7	508.10	128	32000	128	7650	128	320	128	45
	青珍	629	3082	60039	19.5	26923	8.5	33776	11	481.50	94	23500	94	5640	94	232	97	231
	下嘎麻	534	3125	55844	17.8	23088	9.36	26806	8.5	515.00	80	30000	80	4800	80	240	80	135

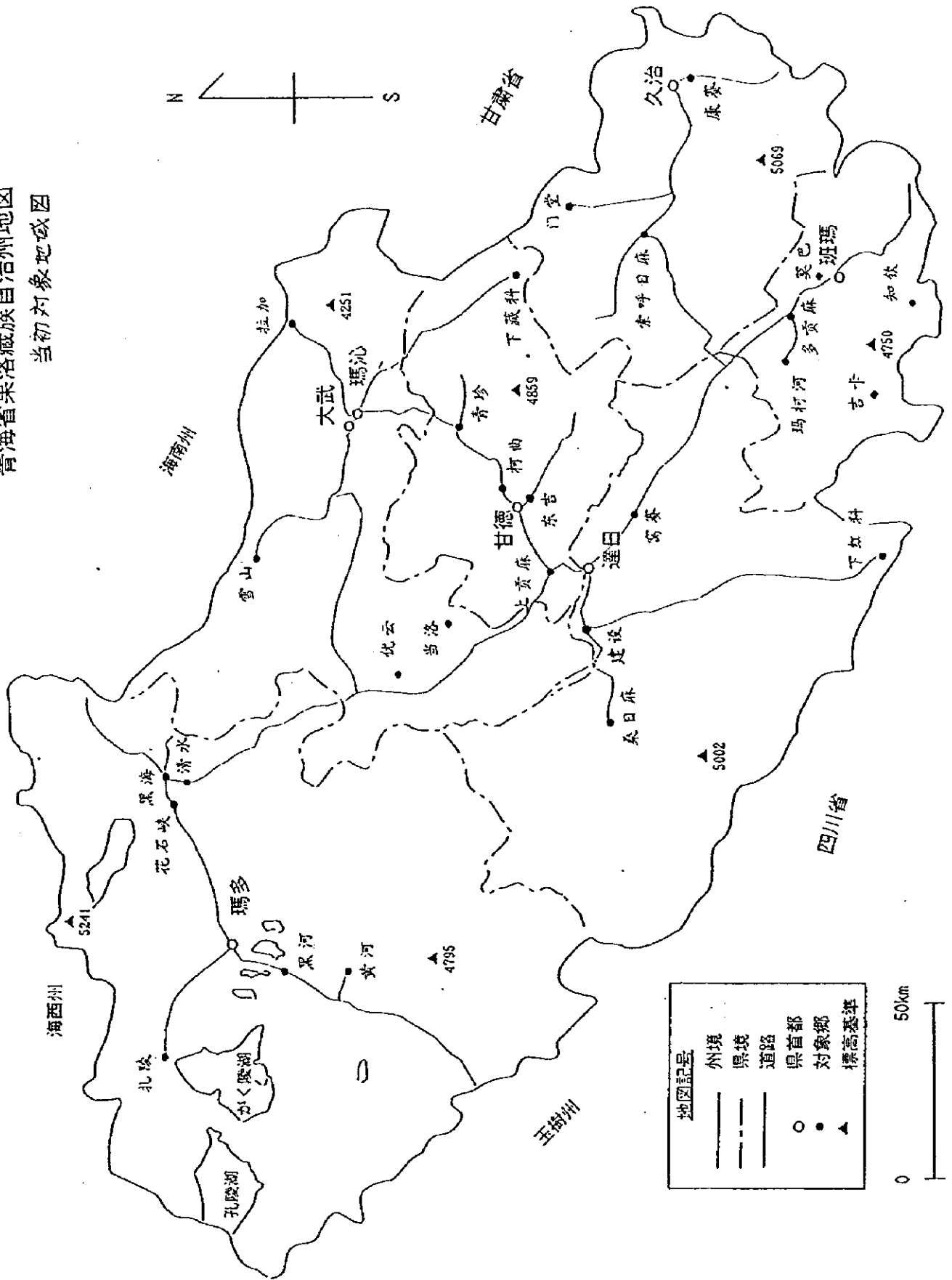
项目乡的基本情况表

地名	项目乡	总牧户数	人口数	牲畜数	人均占牲畜	其中				人均收入	防基地“四定”落实情况							
						牛	人均占牛	羊	人均占羊		圈栏处	高	厩	平方米	舍	处	亩	产
玛多县	黄河	332	1700	47600	28	4864	2.9	4636	25	525.00	63	15750	63	3780			83	228
	黑河	238	1423	39421	27	10638	7.4	2783	19.6	466.00	52	13000	52	3150			67	301
	扎陵湖	251	1438	38071	25.5	10975	7.4	27066	18	502.10	51	12750	51	3080			51	122
	花石峡	233	1300	27130	22.6	8810	7.1	18610	15.5	466.00	98	23250	98	5580			98	190
久治县	黑海	159	955	22440	24	5325	5.7	17115	18.3	480.60	76	19000	76	4660			76	89
	清水	178	846	19453	23	6915	7	13543	16	480.00	32	8000	32	1900			42	70
	东半日麻	502	2575	51750	19	25533	9	33217	9	530.50	301	73250	301	18060	301	1505	301	717
治县	门董	303	1740	38030	19	15941	9.2	17119	9.8	604.70	121	30260	121	7280	121	605	121	710
	康赛	564	2765	54767	19.8	32405	11.7	22382	8.1	615.00	226	56500	226	13560	226	1130	226	1630

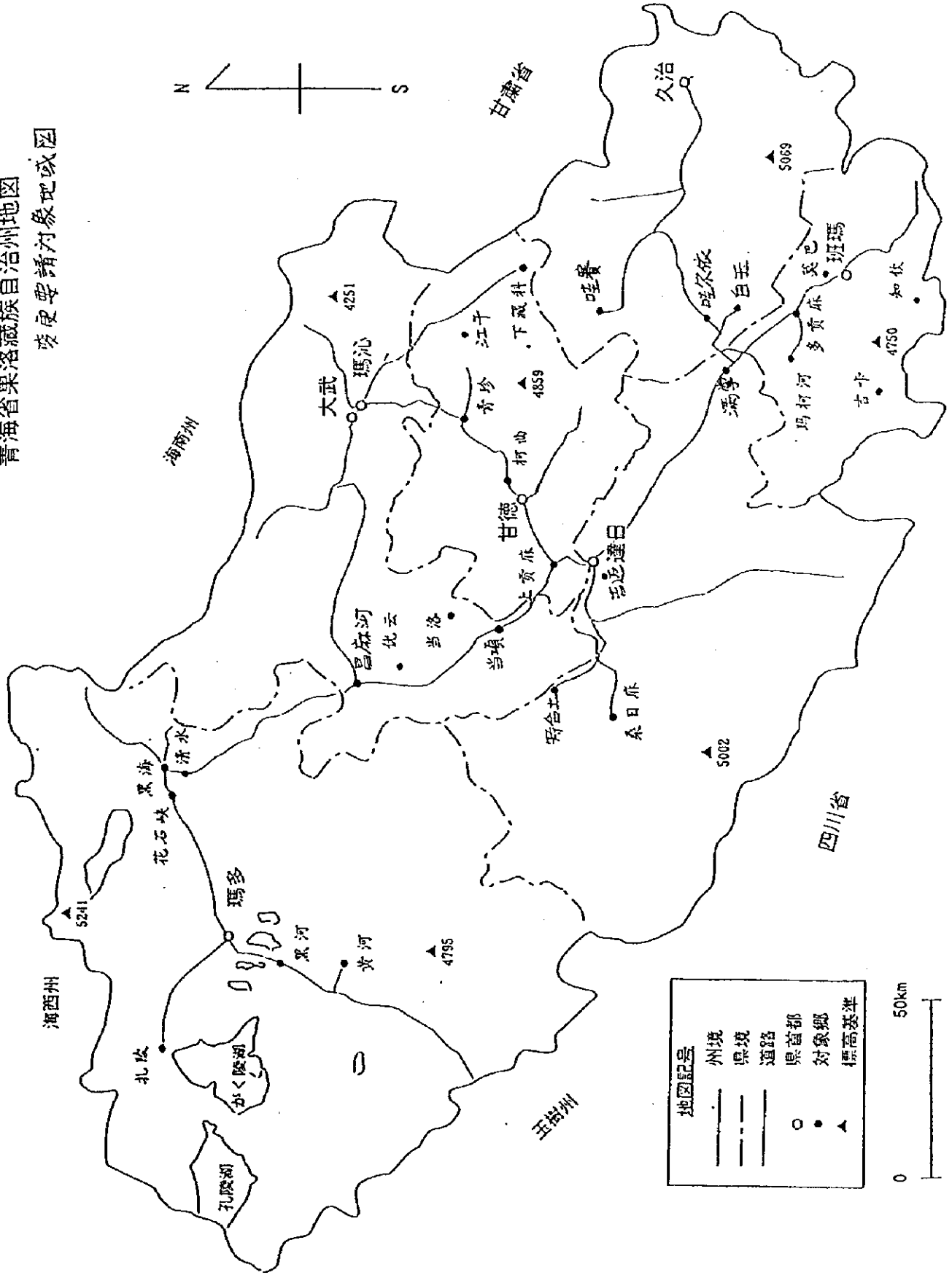
项目乡的基本情况表

地名	项目乡	总牧户数	人口数	牲畜数	人均占有牲畜	其中				人均收入	防灾基地“四配套”建设情况							
						牛	人均占牛	羊	人均占羊		圈处	栏处	厩座	畜舍平方米	何厩基地处	何厩基地亩	定居点户	定居点间
达日县	桑日麻	440	1945	38300	20	17043	8.9	21257	11.1	485.50	230	55000	240	13300				
	建设	494	2149	36633	17	13304	6.5	23929	10.5	430.00	346	86460	346	10760	346	1730		
	下日科	388	1827	36443	19.4	15598	8.5	19846	10.9	471.40	116	29000	116	8120	116	406	116	26
	高家	354	1587	27772	17.5	11997	7.5	15776	10	456.40	248	60000	248	14660	248	630	248	90
	吉卡	310	1562	29116	18	14699	9.4	13417	8.6	531.60	155	38750	155	980	155	2350	246	738
班玛县	玛玛河	278	1250	30250	16.2	12388	9.9	7857	6.3	536.30	111	27750	111	6660	111	277	260	520
	多贡珠	352	1809	26104	14.4	17051	9.4	9063	5	550.00	141	35260	141	8460	141	182	195	380
	知秋	378	1732	30076	17.4	20732	12	9824	5.4	535.00	161	37780	161	9060	161	302	151	104
	美巴	306	1779	27821	15.6	17805	10	10016	5.6	497.00	77	19250	77	4600	77	308	129	387

青海省果洛藏族自治州地区
当初对象地域图



青海省果洛藏族自治州地圖
対象要請内象地図



8/24 (E)

災害発生状況

表五(1) 果洛州项目乡近五年雪灾情况表

县名	乡名	1993年		1994年		1995年		1996年		1997年	
		降雪量 mm	因灾死亡 牲畜数	降雪量 mm	因灾死亡 牲畜数	降雪量 mm	因灾死亡 牲畜数	降雪量 mm	因灾死亡 牲畜数	降雪量 mm	因灾死亡 牲畜数
玛沁县	当洛	509.7	2942	463.2	2206	500.1	8256	502.3	1764	543.5	2083
	当项	513.3	1560	453.1	1170	493.2	9331	463.2	1086	513.7	1287
	优云	514.0	26756	439.9	13378	471.4	2698	461.1	4761	521.3	2800
	昌麻河	498.1	10503	401.3	6301	490.3	2457	454.3	4431	545.4	966
	下贡麻	598.3	15360	514.4	5600	510.4	12719	501.1	3489	389.4	4192
甘德县	江千	605.2	10480	528.2	5030	535.5	9840	519.8	2664	430.8	834
	柯曲	602.6	15120	530.3	7560	530.3	11749	502.3	7616	391.6	2737
	青珍	589.3	30160	539.4	6588	544.1	25636	500.4	3495	401.9	5968
	下藏科	601.4	11600	550.0	8700	528.0	8700	490.3	4251	372.6	3058

各県のステーションから入手

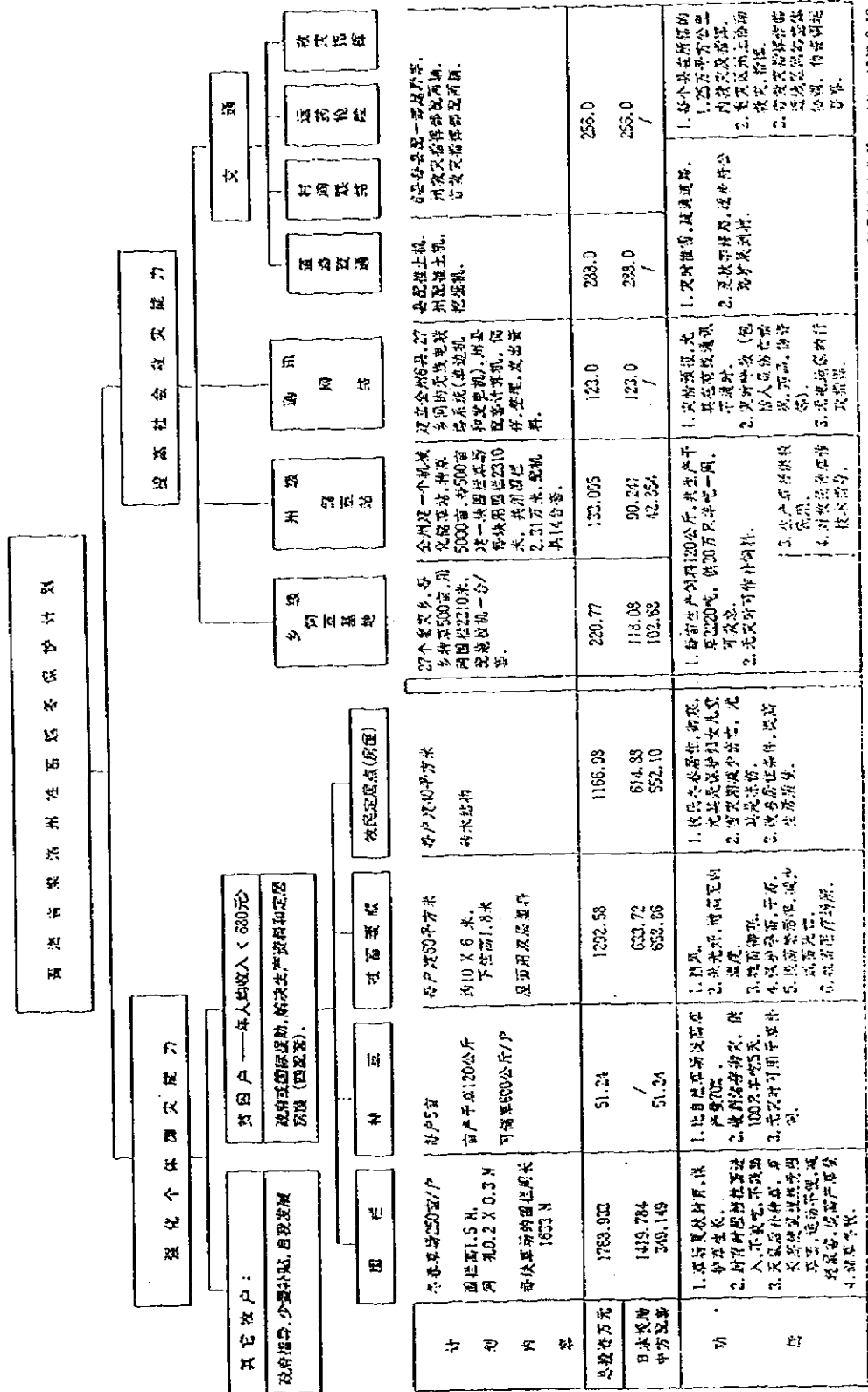
(2)

县名	易灾乡名	1993年		1994年		1995年		1996年		1997年	
		降雪量 mm	因灾死亡 牲畜数	降雪量 mm	因灾死亡 牲畜数	降雪量 mm	因灾死亡 牲畜数	降雪量 mm	因灾死亡 牲畜数	降雪量 mm	因灾死亡 牲畜数
玛多县	黄河	363.1	26010	330.1	3133	303.3	9000	299.7	20609	303.9	3283
	黑河	358.4	30100	327.7	4058	293.3	4959	313.8	22899	321.8	2090
	扎陵湖	360.1	27100	335.2	2810	253.4	8083	308.8	15386	273.6	1817
	花石峡	362.4	20880	330.5	1900	285.1	8182	311.9	12273	303.7	2040
班玛县	黑海	361.9	19350	329.0	9845	280.0	5579	340.4	10370	300.9	1864
	清水	361.9	16000	331.4	8700	283.1	1984	331.1	5586	290.1	990
	吉卡	733.5	1734	622.1	975	638.1	3047	502.7	1320	619.8	1214
	玛柯河	742.9	1660	640.1	900	643.0	2154	560.1	940	644.5	590
玛县	多贡玛	730.8	1370	598.7	1200	601.4	1519	483.2	788	587.3	940
	知钦	728.1	1180	619.3	675	650.3	1110	511.3	650	639.1	2331
	莫巴	738.7	980	631.3	840	671.1	730	520.0	1020	590.0	1644

(3)

县名	易灾乡名	1993年		1994年		1995年		1996年		1997年	
		降雪量 mm	因灾死亡 牲畜数	降雪量 mm	因灾死亡 牲畜数	降雪量 mm	因灾死亡 牲畜数	降雪量 mm	因灾死亡 牲畜数	降雪量 mm	因灾死亡 牲畜数
久治县	白玉	663.3	12600	721.6	8761	737.3	10939	620.2	5166	585.7	3979
	哇尔依	658.0	11700	730.3	1979	699.4	6723	641.1	4087	613.7	1318
	哇赛	661.2	14650	720.0	2961	728.7	8155	608.7	6120	563.7	2800
达日县	桑日麻	480.7	9975	482.5	3861	570.5	8750	569.0	5797	573.4	6018
	特合土	489.3	9120	485.5	5226	589.3	5928	573.2	9168	598.2	5384
	吉迈	504.8	8190	489.1	6979	572.0	5323	570.4	2829	630.5	1435
	满掌	500.1	7080	493.0	5347	543.4	4602	560.3	3720	647.1	5710

项目设计概要示意图



资料来源：根据项目设计概要图整理，1993.3.10。

九七年底全州共参加“四配套”建设的县乡、户数情况表

各乡队的四配套建设户数 8/24 (正)
 完了
 2112

县别	乡别	已建牧户数	县别	乡别	已建牧户数
玛多县	黄河	63	玛沁县	雪山	101
	黑河	52		东倾沟	281
	扎陵湖	51		军功	380
	花石峡	93		下大武	211
	黑海	76		下贡麻	132
	清水	32		柯曲	128
玛沁县	当洛	132	甘德县	青珍	94
	优云	150		下藏科	81
	昌麻河	42		东吉	252
	当项	120		岗龙	159
	拉加	340		江千	119
	大武	381		白五	252
达日县	桑日麻	220	久治县	哇尔依	144
	特舍土	88		哇赛	155
	吉迈	110		索日麻	301
	满掌	168		门堂	121
	下红科	116		康赛	226
	窝赛	248			
	建设	346			
班玛县	吉卡	155	合计	41	6600
	马柯河	111			
	多贡麻	141			
	知坎	151			
	美巴	77			

8/22

果洛藏族自治州农牧局文件

果牧<1997>第65号

关于印发《果洛藏族自治州草原设施 管理办法(试行)》的通知

各县畜(农)牧局, 州县草原监理站:

收悉

在省、州委和政府的关怀支持下, 各地已建成了一大批以“四配套”为主要内容的草原基础设施, 且建设规模越来越大。为管好、用好这些设施, 使其发挥长期经济效益, 我局拟定了《果洛藏族自治州草原设施管理办法(试行)》, 现印发给你们, 请认真组织施行, 在施行过程中不断总结、完善、提高。

一九九七年九月二十五日



抄报: 州政府、省畜牧厅

抄送: 省草原监理站

果洛藏族自治州草原基础设施管理办法（试行）

一、为了管好用好草原基础设施，使其在畜牧业生产中发挥应有的作用和长期效益，根据《果洛藏族自治州草原管理条例》的有关条款，结合我州实际，特制定本办法。

二、本办法适用于自治州辖区草场内国家、集体和个人投资建成的基础设施。主要包括：房屋、仓库、车库、畜棚、畜圈、网围栏、网草地、道路、桥梁、水井、水渠、药浴池、喷雾室、农机具、宣传牌等。

三、各级人民政府的农牧部门和草原监理站负责本辖区内草原基础设施的管理工作。

四、国家、集体投资建成的草原基础设施的所有权属全民和集体所有，可以有偿承包给集体或个人从事畜牧业生产。由国家、集体补助，个人自筹建成的草原基础设施所有权和使用权归牧民所有，经乡人民政府同意后可以有偿转让。

五、草原基础设施的所有权和使用权受国家法律保护，任何单位和个人不得侵犯。

六、草原基础设施所有权和使用权的争议，由当事人本着互谅互让，有利团结的精神协商解决，协商不成的由人民政府处理，对处理决定不服的向人民法院起诉。

七、县畜牧部门和乡人民政府对辖区内的草原基础设施进行登记造册，建立档案。内容包括：户主姓名、草场使用证编号、设施名称、数量、结构、资金构成、建设年限。档

案一式四份，分级存档备案（乡政府一份、县畜牧局一份、州农牧局一份）。

八、草原公共设施由牧委会或合作社负责维护。草原设施使用权固定到户的，其管理、维护由使用者负责。

九、管护好草原设施。牧户搬出冬春草场后，以牧委会或合作社为单位，组织民兵不定期地对建在冬春草场上的设施进行巡逻管护，以防破坏。对损坏的围栏、畜棚、饲草地、饮水点、定居住房等设施要及时进行维修。

十、利用好草原设施，尤其要用好围栏、畜棚和饲草地。饲草地要按时播种，适时施肥，割草要及时收割贮存。围栏要严格开放时间、关键时期使用。正确使用畜棚，经常清除粪便，使畜棚在牲畜保暖、畜疫防治、接子育幼方面发挥有效功能。

十一、任何单位和个人，都不得随意搬迁和破坏草原设施，对发现破坏草原基础建设的单位、个人、要追究经济以至行政法律责任。

十二、坚持棚舍养畜方向，决不能变畜棚为人舍。凡是畜棚变人舍的由乡政府协助县畜牧局收回国家补助款3000元

十三、凡过往行人破坏草原设施的除赔偿损失外，并处于100—500元的罚款。

十四、建立奖惩机制。对草原设施管护好的单位或个人由乡人民政府给予表扬或奖励，对敢于同破坏草原设施的坏人坏事做斗争的有功人员，视其贡献大小、由县以上人民政

府给予嘉奖。

对破坏草原设施但未造成损失的要批评教育，造成重大损失的除赔偿损失外，并处于100—500元的罚款。触犯刑律的移交司法机关处理。对破坏草原设施行为知情不报，不予抵制，的要给予批评教育，对包庇隐瞒的要给予重罚或移交司法机关处理。

十五、建立“育草资金”。赔偿的“损失费”，追回的“补助费”及罚款收入均纳入“育草资金”，用于草原基础设施建设的修建维修和奖励有功人员的开支。“育草资金”由县畜牧局管理，专款专用，由财政部门监督使用。

十六、本办法由州草原监理站农牧局负责解释。

十七、本办法自发布之日起试行。

8/22

因口...の建設基準

果洛藏族自治州农牧局文件

果牧(1996) 第 52 号

关于印发《果洛州防灾基地建设 质量标准(试行)》的通知

果洛州防灾基地建设的质量标准(试行)印发通知

各县(农)牧局:

为了规范我州的防灾基地建设标准,确保项目建设质量和投资效益,根据省主管部门的质量标准要求,结合我州的实际,我局制定了《果洛州防灾基地建设质量标准(试行)》,现印发给你们,请遵照执行。执行中存在什么问题,请及时向我局反映,以便进一步修改完善。

附:果洛州防灾基地建设质量标准(试行)。

一九九六年八月二十二日

抄报:省畜牧厅草原处、正副州长

果洛州防災基地建設質量標準(試行)

为了搞好今后十年我州的防灾基地建设，确保建设质量和投资效益，维护国家、牧民群众和生产厂家的合法利益，有条件的地区必须严格按照《青海省环扣式镀锌钢丝网围栏》(88青牧字第04号文)质量标准和《塑料暖棚》(88青牧字第05号文)进行修建，条件差的地区可以在保证建设质量的前提下，本着因地制宜，就地取材的原则，提出如下质量要求和标准。

一、围栏(网)标准

1、网片标准，采用S-110-60规格的网片(加上一道刺铁丝)，安装高度为140厘米。具体技术参数严格执行Q/JB 76-88《环扣式镀锌钢丝网围栏》标准。

2、立柱、角柱、中间柱、门柱采用角钢材料，技术要求依照《环扣式镀锌钢丝网围栏》标准，其长度不少于200厘米，埋入地下部分不得少于60厘米。

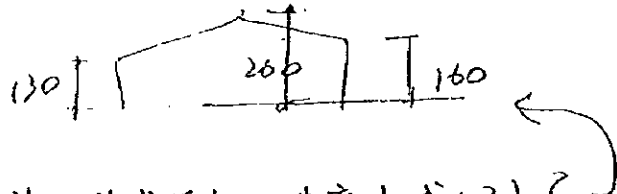
3、我州林区的乡、社可采用木质材料充当立柱，其长度不小于200厘米，木立柱小头直径不小于6厘米，方木尺寸应达到8×12或10×10厘米。埋入地下部分不得少于80厘米，并用沥青进行防腐处理。

4、围栏出入口采用双扇结构，每扇门宽两米。

5、四周木质角柱采用8号铁丝进行牵拉固定。

喜乐的里 二、暖棚标准

1、选择背风向阳、地势平坦、土质干燥、采光良好的冬春草场上。预先打好基础，冬季防风，夏季遮阳，牧草比。上以造子。



2、建筑型式采用单坡片波式暖棚。片流小式とす？

3、每座畜棚使用面积，不能小于60平方米。60m²以上

4、地基宽度为70厘米，深度为不得少于50厘米或者

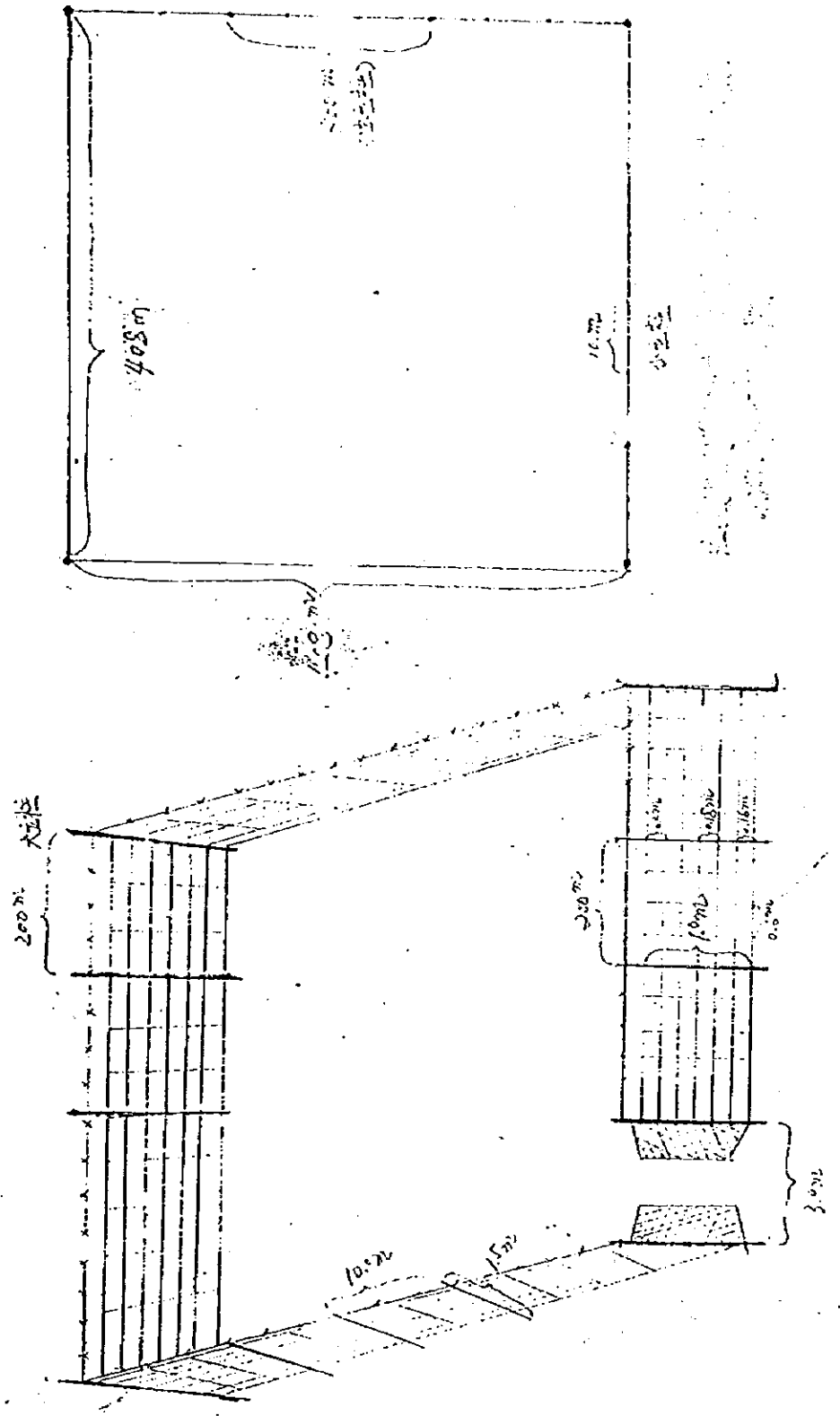
挖至沙砾石，夯实后用质地坚硬的毛石砌筑要高于地面30厘米，前墙高130厘米，后墙高160厘米，山墙顶处高260厘米，墙体宽40厘米，墙体部分采用自制土坯或石块砌筑，支撑柱全部采用砖砌筑或直径为30厘米以上木立柱支撑。石块砌筑部分用素灰沙浆勾缝，土坯墙部分内、外面用草泥罩面抹光。

5、棚顶面要求：

后棚顶面檩条采用直径不小于30厘米的原木，并辅助立柱支撑；椽子采用14×7厘米板材或小头直径不小于8×10厘米的圆木制作，椽子间距在50厘米以下，其上铺设竹帘或柳条枝、油毡，然后上两遍草泥，厚度3厘米。前半棚面，采用6×7厘米方木或经处理的平整原木筑成棚架，其间距不得大于50厘米，再用高质量塑料薄膜封顶，外部沿棚架方向用木制压条固定，周围用砖压边密封。参示意图。

8/22

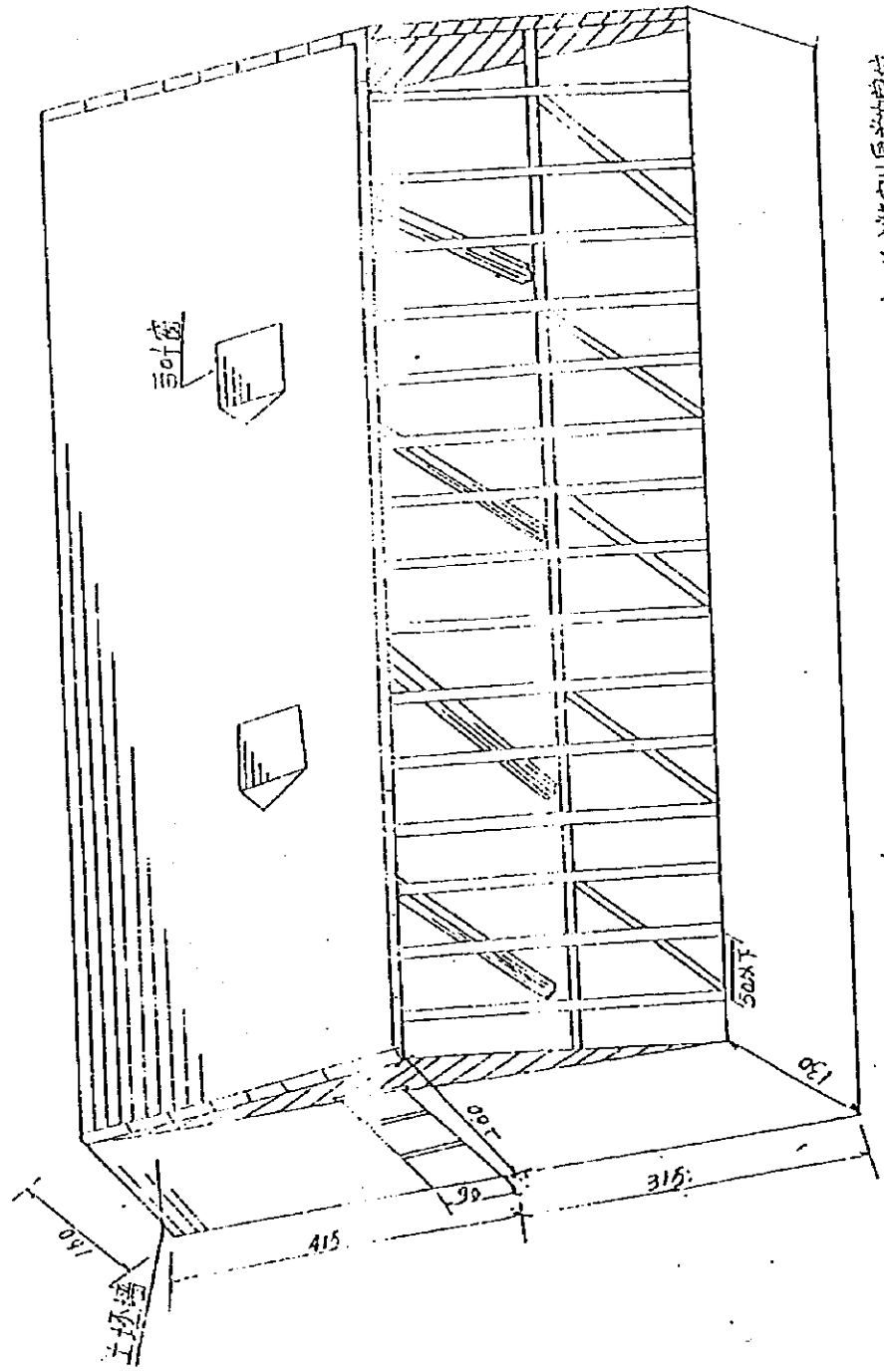
标准250亩围栏图



8/22

別添 - 15 - 1

泉洛州暖棚示意图



注：每座暖棚使用面积，60平方米以上，
 长宽距高自定。
 注：所数字以厘米为单位，
 高台200mm以上，
 长宽距高自定。

5. 内壁 14mm 厚
2mm 厚
1:3 = 石: 砂
30% 砂 70% 石

定居点建筑说明

1、本方案为砖混结构，总建筑面积为53平方米，总使用面积为41.3平方米。居室面积 41.3m²

2、采用MU10机制红砖、MU20毛石、M2.5混浆
 插色赤いカ 割製石 コンクリート
 西宁大红瓦。

3、采用条形毛石基础，基础宽600毫米，深度视地质情况而定，挖至砂砾层即可。
 条形毛石 基础 600mm 深さ見地質の状況
 砂砾层

4、在房屋四角设4根砖柱。四角にレンガ柱を設ける

5、外墙面为白灰粉刷，内墙面14厚1:3，石灰膏砂浆打底，2厚纸筋灰单面，喷内墙涂料。
 外壁は白灰塗り、内壁は14厚1:3、石灰膏砂浆打底、2厚纸筋灰单面、内墙涂料。

6、室内地面做法：①素土夯实，②100厚混砂，③50厚1:2:3细石混凝土随打随抹，并撒1:1水泥砂子压实赶光。
 素土 100厚混砂 50厚1:2:3细石混凝土 撒1:1水泥砂子

7、室外台阶，散水均为混凝土，浇筑前在散水和台阶下，先铺一层厚100的砂垫层。
 散水 台阶 砂垫层

8、C-1, C-2均为双层实腹钢窗，并加钢樞，C-1洞口尺寸为1500×1500，C-2洞口尺寸为900×600。
 双层实腹钢窗 钢樞 洞口尺寸

9、M-1为镶板门，高×宽为2400×1000；M-2为夹板门，高×宽为2000×800。M-1刷棕色调和漆，M-2刷乳白色调和漆。
 镶板门 夹板门 棕色调和漆 乳白色调和漆

10、封檐板宽为300，厚20，刷棕色调和漆。

封檐板

1. 不採り費用

果洛州牧民定居房屋砖木结构投资概算表

序号	项目名称	单位	单价 (元)	每处用量	1708 处用量	金额 (万元)
1	木 材	立方米	700	3	5124	358.68
2	油毡 アスファルト	卷	60	4	6832	40.99
3	水 泥 セメント	吨	450	2	3416	153.72
4	砖 レンガ	块	2.3	1200	2049600	471.4
5	红 瓦	块	1.4	500	854000	119.56
6	竹帘子 竹帘子	捆	25	20	34160	85.4
7	沙 浆 セメント	吨	50	3	5124	25.62
8	运 费 輸送費	车	1500	2	1708	512.4
9	人工费	处	1685	1	1708	287.8
10	合 计					2055.57

XD—D7型50瓦短波电台

使用说明书

国营烽火无线电厂

一九九〇年十月

XD-D7型50W短波电台使用说明

XD-D7型电台包括收发讯机、自动天线调谐器、电源三大部分，本电台具有单边带话，边带报等功能、主要作为中远距离无线电通讯的固定台。

一、主要技术性能

1. 频率范围：2.0—11.999MHz，波道间隔100Hz
2. 工作种类：上、下边带话，上边带报。
3. 存波道数：40个
4. 使用温度范围：-10℃—40℃
5. 电源：DC24V（负极接地）
收状态：不大于1.6A
发状态：不大于7A
6. 外形尺寸：300mm×125mm×380mm
7. 重量：7.5kg
8. 频率稳定度：不大于20Hz
9. 工作时间：接收/发为3:1，可连续工作8小时，收可长时间工作。
10. 发射机性能：
 - (1) 输出功率：单边带话：不小于50W（峰包）
边带报：不小于25W（平均）
 - (2) 互调失真：不劣于-22dB

- (3) 边带抑制：不劣于 -40dB
- (4) 载波抑制：不劣于 -40dB
- (5) 话路输入电平：不大于 10mV
- (6) 话路频率响应：在 350—2700Hz，不大于 6dB

11. 接收机性能：

- (1) 灵敏度： $\frac{S+N}{S} = 12\text{dB}$ 不劣于 $2\mu\text{V}$
- (2) 中频选择性：6dB 带宽不小于 2.35KHz
40dB 带宽不大于 4.2KHz
- (3) 音频响应：350Hz—2700Hz 波动不大于 6dB
- (4) 音频输出和失真系数：
 - 额定音频输出：20mW
 - 最大音频输出：不小于 4W
 - 失真系数：不大于 10% (2w 输出时)
- (5) 自动增益控制：天线输入由 $10\mu\text{V}$ 增加 80dB
(即 10000 倍)
输出变化不大于 6dB (2 倍)
- (6) 中频抗拒比：不劣于 70dB
- (7) 像频抗拒比：不劣于 80dB

二、电台的结构

外部结构

1. 整体机架式结构

本电台采用整体机架式结构，用十字槽起子将上、下盖

七年扶贫攻坚计划概要

一、制定《计划》的前提

为了在本世纪基本解决农牧民贫困人口温饱问题。我州根据省委、省政府《八、七扶贫攻坚计划》，结合我州实际制定了《果洛州七年扶贫攻坚计划》。

一九九四年，全州国定、州定贫困乡有32个，贫困户有6857户，34285人，18个非贫困乡中有贫困户1653户，7119人。全州共有贫困户8510户，41404人，人均占有牲畜5头只以下的1005户，人均占有牲畜10头只以下的3006户，分别占全州总户数的5.8%和17.2%。

通过几年的努力，到一九九七年底，全州贫困户下降到5531户，贫困人口下降到26995人，分别下降35%和34.8%。

二、奋斗目标

到本世纪末，1.人均占有牲畜达到30头只匹以上，人均年收入达到850元，85%以上贫困人口实现解决温饱。2.贫困地区80%以上的贫困户实现“四配套”建设，实现乡和主要村通路、通邮。3.初步改变文化、教育、卫生的落后状况，基本扫除青壮年文盲、大力开展技术培训，防治和减少地方病。

三、实施步骤

第一类地区：班玛县的五个乡，用五年时间（94年至

98年)基本解决贫困人口的营养问题。

第二类地区:甘德县的三个乡,久治县的三个乡,玛多县的三个乡,用六年时间(94年至99年)集中解决贫困户的营养问题。班玛县的另五个乡和玛多的一个乡同时解决18个非贫困乡中的贫困人口的营养问题。

第三类地区:达日县的十个乡,甘德县的一个乡,玛沁县的两个乡,用七年时间(94年至2000年)集中攻坚,基本解决解决贫困人口的营养问题。

四、具体规划和措施

1.紧紧围绕畜牧业,狠抓草业,大搞退化地治理。全州对3000余万亩的退化草场计划每年搞5万亩100处的综合治理,恢复植被,提高户草量。动员家家户户搞圈窝子种草,力争每年冬春畜均储草达10公斤。

2.努力改善生产条件,大搞草原基础设施建设。到2000年使贫困地区80%以上的牧户实现“四配套”建设。

3.狠抓畜牧业生产,到2000年全州牲畜总数达到280万头只匹左右,人均牲畜达到30头只左右,商品率达到20%,适龄母畜比例提高到50%以上。

4.开发资源。七年内全州计划开发项目的有:德尔尼铜矿,班玛2、3、4号采金船等十二个项目。已确立的项目有大黄资源开发,牛毛线加工厂、砖瓦厂,农副产品加工厂、蔬菜基地建设等。

5. 加快交通，通讯建设。七年内改建，新建乡和乡村公路904公里，计划到2000年完成大武至甘德至达日间公路的二期工程。在96年完成甘德、达日、久治、玛多四县自动电话工程的基础了，解决27个乡通讯问题，到2000年实现乡乡通车、通邮。

6. 加快电力建设。原计划东部电网向大武110KV⁴伏送电一、二期工程和班玛仁钦果水电站已建成投入使用，玛多黄河沿电站正在修建之中。其它地区利用水资源办小型发电站或利用太阳能和风力资源的办法解决牧民生活用电。

7. 促进教育、文化、卫生事业。根据有关规定到本世纪末教育经费每年5—7%，适龄儿童入学率达到70%以上，青壮年扫盲率达到80%以上。乡乡建成电视地面接受站。建成州、县、乡四级医疗卫生网，计划免疫率达到95%以上。

在七年计划中，有没有人们所设想的项目应起的作用，如果有，是什么作用？

作用有，就是改变畜牧业的御^力突发能力，降低突害影响，使畜牧业稳定生产，增加牧民收入，同时改善牧民的生活条件。我州从90年以来的“四配套”建设已经证明了这一点。

学习
没收入

8/22

青海省果洛藏区牲畜越冬保护 计划项目指导小组成员建议名单

- プロジェクト長 プロジェクト指導グループメンバー
- 组长: 旦正 州人民政府副州长 (男, 藏族, 48岁)
- 副组长: 罗生霞 州农牧局局长 (男, 藏族, 47岁)
- 甄铁义 州农牧局副局长 (男, 汉族, 49岁)
- 成员: 张生庆 州农牧局办公室主任 (男, 汉族, 37岁)
- 依周 州农牧局草建科科长 (男, 藏族, 44岁)
- 戴朝统 州草籽场场长、助理农艺师 (男, 汉族, 38岁)
- 李有福 州草原站副站长、农艺师 (男, 汉族, 35岁)
- 桂海生 州农机站副站长、助理工程师 (男, 汉族, 39岁)
- 张建才 州草原站干部、助理农艺师 (男, 汉族, 34岁)

ニニカ
下
バム公室
メンバー
ミカハシ

指导小组下设办公室罗生霞兼主任; 张生庆、依周兼副主任。

バム公室の主任は 羅

副主任は 張、依

メンバーは ~~張、依~~

项目乡调整情况表

县名	原定项目乡名称	调整后项目乡名称	调整的理由
玛多	黄河、黑河、扎陵湖、花石峡、黑海、清水	黄河、黑河、扎陵湖、花石峡、黑海、清水	1、调整的乡均属贫困乡，人均占有牲畜10至20头(只)左右；人均收入450元至650元之间。当时由于考虑到实施条件差，操作不便等原因未列入项目中。
玛沁	当洛、雪山、优云、拉加	当洛、当项、优云、吕马河	
甘德	下贡麻、柯曲、青珍、下藏科、东吉、	下贡麻、柯曲、青珍、下藏科、江千	2、申报项目时，特合土、白玉、哇赛等乡无公路，交通困难，97年才修通了县至乡的公路。
达日	桑日麻、建设、下红科、窝寨	桑日麻、特合土、吉迈、满掌	
班玛	吉卡、玛柯河、多贡麻、知钦、莫巴	吉卡、玛柯河、多贡麻、知钦、莫巴	3、原定的项目乡雪山、拉加等九乡近年政府安排专项资金建成或正在修建配套，故进行调整。
久治	索乎日麻、门堂、康寨	白玉、哇赛、哇尔依	

資料6 収集資料リスト

中国青海省チベット族地区牧畜越冬保護機材整備計画 予備調査

<収集資料>

1. 「7年扶貧攻堅計画の概要」および同日本語訳
2. 「青海省畜牧局獣医科学院簡介」
3. 「果洛藏族自治州農牧局文献・果牧<1997>第65号—果洛チベット族自治州草原施設管理方法（試行）に関する通知」および同日本語訳
4. 「青海省チベット族畜家畜保護計画一覧表」および同日本語訳
5. 「項目設計概要示意図」および同日本語訳
6. 「青海省蔵区牧畜越冬保護計画プロジェクト組織図」
7. 「青海省畜牧業發展計画（1996-2010年）」および同日本語訳
8. 「且正副州長対日方調査人員提出的兩個問題的答復」および同日本語訳
9. 「青海省地図冊」
10. 「1997 中国經濟年鑑」
11. 「果洛省の牧畜業に関する調査」（青海日報新聞記事）および同日本語訳
12. 「青海省果洛チベット族地区家畜越冬保護計画プロジェクト」状況紹介

JICA

